

令和4年度 村上市地域包括支援センター年間事業表(実績)

地域包括支援センターは、介護保険法(115条)で「地域住民の心身の健康の保持および生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上・福祉の増進を包括的に支援する施設」と定義され、3職種の保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員が役割分担し介護予防支援、包括的支援事業などの業務、制度横断的な連携ネットワークを構築します。		【大目標】村上市が目指す地域包括ケアシステムを構築し、支えあい、安心して暮らせる思いやりのあるまちづくりを推進する。												第8期計画の基本理念「地域で安心して心豊かに暮らせるまちづくり」をめざし、地域包括支援センターとしてできることを大目標にあげ、中目標には実現するための具体的な目標、小目標には具体的な取り組みをあげる。			
		【中目標】①介護予防・日常生活支援総合事業の充実 ②高齢者虐待防止の体制強化 ③成年後見制度利用促進のための体制整備 ④自立支援に向けた、ケアマネジメント力の強化 ⑤住民主体の生活支援サービスの体制整備 ⑥在宅医療・介護連携の推進 ⑦認知症の方をサポートするための地域力を高める															
		【小目標】 ①-1 住民が参加しやすい通いの場を増やすため、実態把握訪問により、現状を把握する。①-2 通所型サービスCモデル事業の実施箇所数を増やす。 ②虐待の早期発見と迅速な対応を目指し、地域包括職員や関係者向けの研修会を開催する。 ③中核機関を設置し、関係機関へ成年後見制度の周知や利用促進に取り組む。 ④ケアプラン点検や地域ケア会議、介護事業所向け研修等により、介護サービス関係者のスキルアップを図る。また住民向けの啓発も行う。 ⑤住民自ら地域課題を考えられるような機会を設ける。 ⑥-1在宅医療・介護連携見える化ツールを活用し、現状分析を行い、次年度以降の事業の方向性を検討する。 ⑦-1認知症の正しい知識の普及をめざし、村上市オレンジプロジェクトおよび職域・教育機関でのサポーター養成講座を開催する。また、暮らしやすい地域づくりのために、関係機関と打合せ会議を開催する。															
項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	課題・その他		
全体	地域包括支援センター運営協議会								17日				29日	任期：R2.4.1～R5.3.31	地域包括支援センターの運営や事業内容について報告し協議(年2回)		
	包括担当者連絡会	26日	31日	28日	26日	中止	27日	18日	29日	27日	31日	28日	29日	本庁、各支所の情報共有の場	毎月事業の検討、研修会等の復命などを行い、事業が円滑に行えるようにする。		
介護予防・日常生活支援総合事業	元気応援通所サービスC	荒川				元気応援あらかわ教室(8月～12月 週1回 計16回)								委託先：希楽々	生活課題の改善を目指し、生活不活発を予防できるよう、運動機能向上、栄養・口腔機能改善のためのプログラムを実施。 R3年度県のモデル事業として実施した元気応援あさひ教室は、今年度参加人数を増やして実施した。また、元気応援あらかわ教室もモデル事業に習った形で実施した。		
		神林					元気応援かみはやし教室(9月～2月 週1回 計20回)									委託先：特養さつき園	
		村上					元気応援むらかみ教室(9月～2月 週1回 1クール3か月で2クール開催 計24回)									委託先：いわくすの里	
		朝日					元気応援あさひ教室(8月～2月 週1回 1クール3か月で2クール開催 計24回)									委託先：DS羽衣	
		山北					元気応援さんぼく教室(10月～12月 週1回 計12回)									委託先：さんぼくスポーツ協会	
	一般介護予防事業	みんなで笑おう◎元気アップ教室(各地域)	村上：40か所 荒川：15か所 神林：27か所 朝日17か所 山北：11か所												委託先：市内5か所の総合型スポーツクラブ	引き続き、感染症対策をしながら身近な通いの場を増やす取り組みを行っていく。未実施町内の訪問活動でニーズ調査をしながら新規開催を呼びかけた。	
		水中運動教室			5月～11月(8月は休み) 週1回 計18回										委託先：ウェルネスむらかみ	会場：朝日きれい館。新規参加者が増えるよう呼びかけPR等に引き続き力を入れたい。	
		ゆーとびあ【むらかみ】	水・木・金：3コース 週1回(1コース 計40回 計120回) 会場：あかまつ荘												委託先：村上市レク協会	介護予防体操やレク活動を通じて、運動機能の維持や閉じこもり予防を行う。	
		男前健康運動教室			5月～11月 週1回 計20回										委託先：ウェルネスむらかみ	会場：村上体育館。参加者が固定化してきているため、新規参加者が増えるようPRと内容の充実をはかる。運動が習慣化されるよう取り組んでいく。	
		地域介護予防活動支援事業	新規活動集落募集中 (R3～5年度 ふれあい処「静山荘」)												過去：H28～30高根・H28・29めでたや・H30～R2塩谷	地域住民が主体となって取り組む通いの場(週1回以上)や、通いの場を通して「助け合いのしくみづくり」を行うモデル事業。	
		地域リハビリテーション活動支援事業	在宅リハビリ指導、介護事業所リハビリ講習会、介護事業所個別指導、個別メール相談												地域のリハビリテーション専門職から派遣	在宅リハビリ指導ではCMやHP等で周知し必要な方の利用につなげる。介護事業所個別指導は施設のリハビリや介助等の課題解決に活用してもらう。	
		介護予防講演会							25日							R3年度開催したモデル事業の取り組み・成果報告	介護保険制度の理念や高齢者の生活不活発によるフレイル予防について、通所型サービスC(モデル事業)の実践報告と合わせて行う。(県共催)
		介護予防把握訪問		神林・荒川地域												高齢者実態把握のための看護師による訪問	(看護師が1人のため、訪問時期、対象者については地域の実情に応じて検討)
	介護予防事業打合せ会		31日												市内総合型スポーツクラブとの打合せ	効果的な事業実施に向けて内容や評価の仕方を検討する。	
権利擁護業務	成年後見制度の活用促進							25日	10日					委託先：市社協	R2・3年度に養成講座を受講した修了生を対象に、フォローアップ講座を開催。市民後見人単独選任を目指し、講座の復習や事例検討を行った。		
	高齢者虐待防止ネットワーク会議												16日	認知症対策推進会議と合わせて開催	関係機関の顔合わせを含め7月に開催予定だったが、感染症や豪雨災害の影響のため延期して開催。市の実情や取り組みの共有、防止に向けての意見交換を行った。		
	消費者被害の防止						15日							R4年度 1回	ケアマネ連絡会にて、消費生活センターより消費者被害や高齢者を狙った詐欺等について、情報提供を行った。		
包括的・継続的ケアマネジメント(ケアマネ・介護サービス事業所連絡会など)	全体								2日	2日				関川村と合同で介護支援専門員研修会を企画・開催している。	関川村と合同で研修を行い、ケアマネのスキルアップを図る。		
	荒川	19日				17日							16日	情報交換・事例検討会・勉強会	事業所との情報交換の他、事例検討会を実施しスキルアップを図る機会となっている。		
	神林			9日				13日					2日	情報交換・事例検討会・勉強会			
	村上		19日					15日		17日(事例研究)			11日	情報交換と事例研究会			
	朝日			6月15日												情報交換と事例検討会	
山北			29日									9日		情報交換と事例検討会			

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	課題・その他			
包括的支援事業	地域ケア会議	地域ケア推進会議												保健医療課・福祉課・自治振興課・企画戦略課	「地域包括ケアシステム」について、関係各課職員同士で情報交換・情報共有を行い、推進していく会議体である。R4年度は未開催だった。			
		困難事例のケア会議													随時、開催。(R4年度 12事例)	困難事例について、職員だけでなく様々な関係機関や支援者で、課題解決のため話し合う機会を設けるもの。		
		地域ケア個別会議	21日		23日		18日		20日		22日		16日		専門職は県地域包括ケア支援専門職協議会で派遣調整する	ケースを通し、自立支援に向けた各専門職のスキルアップを目指すとともに、顔の見える関係づくりを強化していく。		
	生活支援協議体	1 層			2日				13日	学習会 10日				1日	研修会 14日	合同学習会(11/10) 合同研修会(3/14)	合同学習会は「お互いさまだねっか講座」第2弾を実施。今年度は高校生やまち協のボランティア活動と、町内で互近所ささえ～る隊を結成した事例を紹介した。	
		荒 川		18日				14日						16日			隊員が地区訪問(花立・下鍛冶屋・藤沢)し、啓発と困りごとの把握を行う。まち協広報「あらからわばん」に隊員が記事を担当し掲載。地区住民とワークショップの開催を予定する。	
		神 林		19日	28日					老人クラブとのWS 9・16日	1日		9日		老人クラブとのワークショップ(11/9、11/16)	老人クラブ各クラブから男女2名ずつ参加してもらい、特製かるたを使ったグループディスカッションを行う。「老人クラブでできること」等について意見交換を行う。。		
		村 上		25日							6日		3日				山辺里地区では夏休みに家族や子供たちに地域のささえ合いについて普及啓発を行う。岩船上町ではお茶の間がで困りごとお聞いていく機会ができた。その他地域でのささえ合いについて座談会などを行う	
		朝 日		5月17日			8月29日				12月21日			3月8日	買い物物送迎支援(年間6回) 6/21.7/5.7/21.9/22.10/26.11/18	SCを都岐沙羅パートナーズセンターに委託。住民有志による買物支援実験/まちづくり協議会との意見交換会/5地区での集落座談会/集落独自の活動支援		
		山 北			30日		23日			消防団WS 11日 18日	買い物実験 7日 会議15日			10日	消防団とのワークショップ(11/11・18)	SCをおたすけさんばくに委託。若者世代(消防団)へ地域包括ケアシステムや地域でのささえあいについて考えてもらう機会を設けた。また路線バスを活用し、運転免許証返納予定者を対象に買い物実証実験バスツアーを開催。		
	在宅医療・介護連携推進事業	在宅医療推進委員会				25日								27日			在宅医療・介護連携の地域課題について、村上地域在宅医療推進センターや各作業部会等と連携しながら取り組んでいる。R4年度は、住民向けの在宅医療普及啓発として、フォーラムを開催した。	
		各専門部会意見交換会	22日リハ部会、CM部会		17日リハ部会、22日CM部会、27日坂町病院 代表者会議	15日CM部会とMSW部会意見交換会 27日坂町病院 意見交換会			14日MSW部会	26日 在・医普及啓発フォーラム	16日MSW部会 7日多職種研修会	19日 地域医療を支えるまちづくり 検討会 20日CM部会	22日多職種連携研修会	17日CM部会				
		在宅医療推進センター実務担当者会議	15日	18日	17日	22日		2日	19日	21日	19日	27日	24日	24日				
	認知症総合支援事業	認知症初期集中支援推進事業								← 村上地区 1件 →					チームは、サポート医の佐野医師と包括職員で構成	村上地区にて1件対応。令和5年3月に介護サービスにつながり初期集中支援チームとしての対応は終結。初期集中支援チーム検討委員会は認知症対策推進会議と一緒に開催。		
		認知症対策推進会議												16日	虐待防止ネットワーク会議と合同開催	7月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により延期して開催。認知症関連の現状や取り組みを報告。介護事業所職員や介護者等と意見交換を行った。		
		介護者のつどい					1日								20日	介護者だけでなく一般住民を対象として認知症をテーマに開催	第1回 講師:クラレテクノ(株)ちゅーりっぷ 新野直紀氏 第2回 講師:有田病院 医師 有田正知氏	
認知症カフェ		村 上	26日	25日	22日	27日	24日	28日	26日	30日	22日	大雪のため中止	22日	22日	市直営かたるんカフェ月1回	コロナ禍のため飲食できないが、脳トレやレクリエーション等を取り入れ開催した。リピーターの参加が多い傾向にある。		
		各支所															コロナ禍により、介護事業所等での開催ができなかった。	
認知症サポーター養成講座															随時、出前講座として受付・開催	認知症キャラバンメイトが講師となり講座を開催	地域の茶の間や認知症カフェ、市内高校等からの申込みあり。8回123名が受講した。	
認知症高齢者見守り事業(ステッカー)															随時、申請受付	ステッカー(5足分)を配布	サポーター養成講座等で事業のPRを実施。実利用者数 34名。	
徘徊高齢者等家族支援事業(GPS)															随時、申請受付	委託先:セコム上信越株式会社	サポーター養成講座等で事業のPRを実施。施設入所等により利用終了となり、令和4年度末時点で1名利用。	
高齢者総合相談															(月)～(金)8:30～17:15 随時相談(※要予約)	本庁および支所の職員が対応	随時相談を受け付けるが、事前の予約をお願いしている。	
その他	新潟看護医療専門学校村上校 看護学生実習受け入れ				3・10・22・ 24日	21・22日		2・9日	28日	2日					1G:2～6人 各G1日のみ	地域看護学実習(訪問看護や介護事業所の看護師業務等)の1部署として、毎年受け入れている。介護予防事業や地域の関係者との連携を学ぶ。		
	市報														毎月1日号または15日号	地域包括支援センターだよりほか、事業等のお知らせ	協議体の活動や介護予防事業の紹介、認知症や高齢者虐待に関する普及啓発等を行った。	
	イベント														中止	ふれ愛フェスティバル(福祉まつり)	脳年齢測定や骨密度簡易測定など実施する予定→中止(式典のみ)	